

あましん



地域社会

あましんが 地域と一緒に、 できたこと。

What Amashin has accomplished, working with the community.

金融機関には、お客さまの大切な資産をお預かりし、資金や金融サービスを企業や個人のお客さまに提供することで、社会・経済の健全な発展を支える役割があります。当金庫では、地域のお客さまへのご融資を通じて、地域経済の持続的発展に努めています。

法人のお客さま

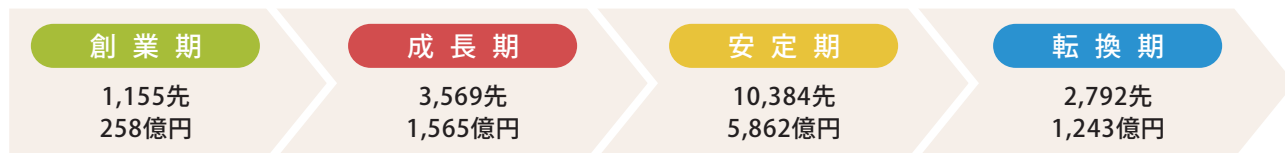
当金庫は、中小企業専門の金融機関として「日本を支える中小企業」の事業経営・成長をサポートすることにより、地域経済の持続的発展・活性化に貢献しています。

コンサルティング活動

当金庫は、お取引先へのコンサルティング活動を通じて“お客さまから選ばれる金融機関”をめざしています。日々の会話から得られるあらゆる情報を営業店と本部で共有し、関連・グループ会社や専門機関と連携してお取引先企業のライフステージにあわせたコンサルティングと最適なソリューションの提供を追求しています。また、目利き力を高め、担保や保証に過度に依存しない事業性評価に基づいた融資に積極的に取り組んでいます。



企業のライフステージにあわせたコンサルティング



ライフステージ別の経営支援体制(全与信先17,900先、融資残高合計8,928億円)

ライフステージの区分

- 創業期：創業、第二創業から5年まで
- 成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超
- 安定期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%～80%
- 転換期：売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満、貸付条件の変更または延滞がある期間
(融資残高は2025年3月末)

2025年3月末時点で、当金庫をメインバンクとしてお取引いただいている企業(8,727先・融資残高5,840億円)のうち、経営指標の改善が見られた先は6,780先、経営改善先に係る融資残高(3月末)の推移は、2023年は4,126億円、2024年は4,301億円、2025年は4,310億円となっています。また、事業性評価先数は7,775先・融資残高5,751億円で全融資先・残高に占める割合は、先数43.4%・残高64.4%となりました。



スタートアップ支援

創業相談会を定期開催するほか、起業・創業イベントやビジネスプランコンテストなどへの参画、事業の将来性や成長性を適切に評価する「創業支援融資」「あましん創業・成長サポートファンド」などの資金面でのサポートに積極的に取り組んでいます。2024年度に当金庫が関わった創業・第二創業支援件数は1,258件となりました。

※設立5年未満の企業への融資、創業融資の取組件数、創業塾参加者数などの合計



海外ビジネス支援

海外での駐在経験者や外国為替の担当者など、専門知識を持った職員が支店担当者とともに信金中央金庫や海外の銀行をはじめとする提携企業と連携して、お取引先企業の海外ビジネスをトータルでサポートしています。信用状(L/C)取引や海外への送金、海外からの送金受取りなど、貿易(輸出・輸入)取引もお手伝いしています。



経営改善・事業再生支援

お取引先の経営改善・事業再生支援については、価値創造事業部を中心に営業店と本部が一体となって事業の早期再生をお手伝いしています。経営に関するアドバイスをはじめ、各種セミナー・相談会の開催、外部専門機関への橋渡しなどを行っています。当金庫が経営改善を支援している先は、2025年3月末時点で1,504先となっています。



事業承継・M&A支援

お取引先が抱える多種多様な相続ニーズにお応えし、価値創造事業部の専門スタッフが営業店や外部専門機関等と連携して課題の解決に取り組んでいます。事業承継支援セミナーや個別相談会の開催、自社株承継や相続対策支援、M & Aの仲介サポートなどスムーズな事業承継のお手伝いをしています。

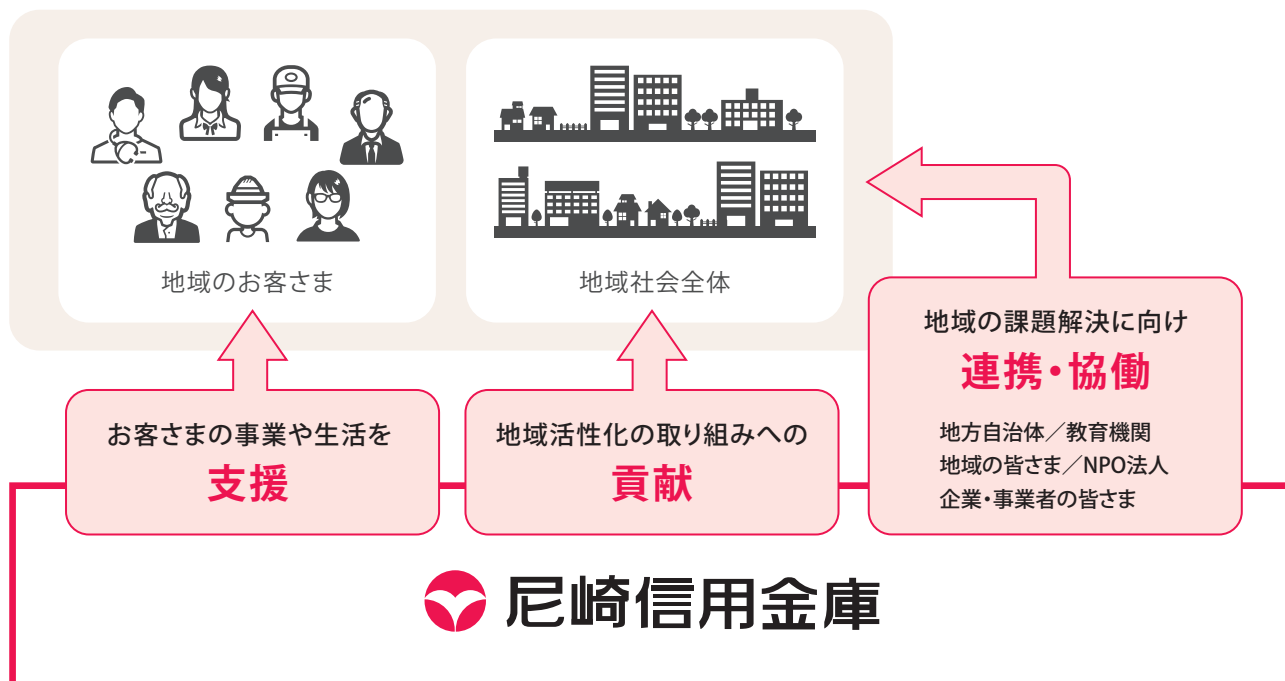


経営者保証に関する ガイドラインへの取り組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を踏まえて策定した「経営者保証に関する取組方針」に基づき、ご融資における個人保証の必要性をお客さまとの対話を通じて十分に検討し適切に対応しています。2024年度に当金庫が新規に無保証で融資をした件数は12,712件、新規融資に占める割合は50.35%、保証契約を解除した件数は223件となっています。

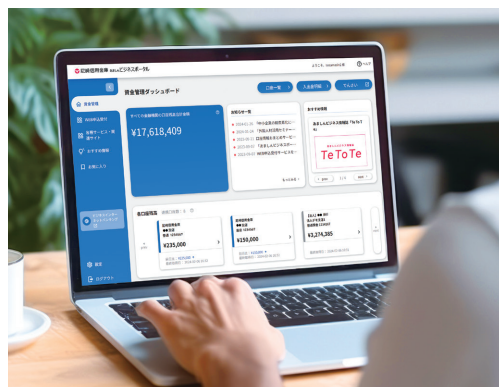
地域の経済発展を支援

当金庫は「地域社会への貢献」を経営の基本方針に掲げ、地域経済の活性化と持続的発展に努めています。



あましんビジネスポータル

法人・個人事業主のお客さまの経理業務などの効率化にお役立ていただける「あましんビジネスポータル」。本サービスでは、複数の金融機関の取引状況（残高や入出金の推移など）を視覚的にわかりやすくグラフ化して表示する機能や、ご来店不要で各種お手続きを可能とする機能、ご返済予定表などの各種ご案内帳票を電子データでお届けする機能などをWEB上でご利用いただけます。当金庫のWEBサービスご利用の起点として、ぜひお役立てください。



ビジネス情報誌「TeToTe」

地域経済の活性化をめざすビジネス情報誌「TeToTe」。〈あましん〉だからこそできる「人」「まち」「仕事」をタイムリーに取り上げ、地域の皆さまとの懸け橋となるよう情報発信に取り組んでいます。

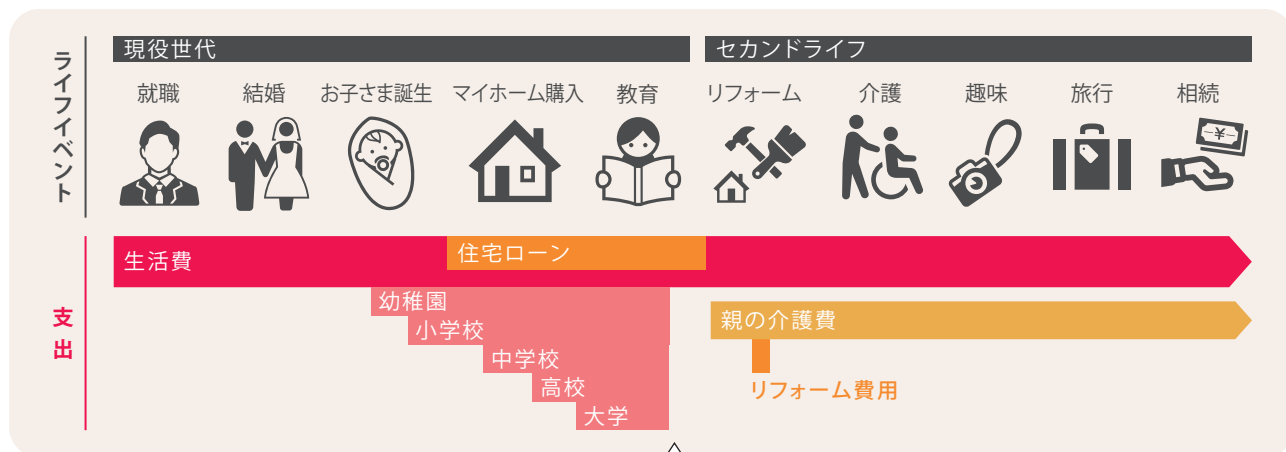


◀「TeToTe」は、当金庫のホームページからご覧いただけます。



個人のお客さま

当金庫は、個人のお客さまのライフスタイルや資産状況・ニーズに応じて最適なアドバイスを行い、将来設計（ライフプラン）実現をサポートします。



ライフステージに応じた商品で、ライフプラン実現をサポートします

定期預金

投資信託

生命保険

信託商品

住宅ローン

教育ローン

フリーローン

カードローン



多様化するニーズに最適な提案をめざして

当金庫は個人のお客さまのライフプランに応じた最適なソリューションを提供することで、人生100年時代におけるお客さまの豊かな暮らしをサポートします。2023年4月から身近なコンサルティング担当者としてタイプ別の渉外係を配置し、一人ひとりのお客さまに寄り添い、幅広い金融サービスの提供を通じて、お客さまの資産を守る、活かす、育てるお手伝いをしています。



App Store
からダウンロード



GET IT ON
Google Play



- Apple、Apple ロゴ、iPhone は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android、Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。



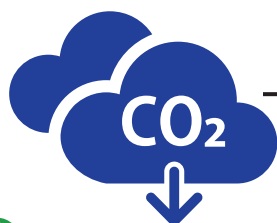
あましんアプリ

当金庫が提供する個人のお客さま向けスマートフォンアプリを2025年4月にリニューアルしました。

新しくなった「あましんアプリ」では、時間や場所にとらわれずに、口座開設や残高・入出金明細の照会に加え、定期預金のお預け入れ、振込・振替など、各種お手続きをお手元のスマホで安心・便利にご利用いただけます。当金庫はデジタルサービスの提供を通じて、お客さまの利便性向上と非対面チャネルの強化に努めてまいります。

Pre-financial information

あましんの非財務ハイライトについてご紹介します。



(E) CO₂排出量^{※1}

2,981 t
(前年度対比13.6%増加)



(E) ガス使用量に係る
CO₂排出量^{※1}

154 t
(前年度対比1.9%増加)



(E) 電気使用量に係る
CO₂排出量^{※1}

2,827 t
(前年度対比14.3%増加)

※CO₂排出量算定にあたっては、関西電力の基礎排出係数を使用しています。前年度対比で増加となっていますが、電力の基礎排出係数が増加したことに伴うものであり、エネルギー使用量としては減少しています。
(2022年度:2,156kl 2023年度:1,819kl)

(S) 地域貢献活動^{※2}



尼崎市わがまちクリーン運動
延べ参加人数

676人



尼崎21世紀の森 除草・間伐活動
延べ参加人数

567人

(S) 次世代への金融教育^{※2}

(おかね寺子屋、
金融経済教育セミナーの実施)

6校

851人

開始から2025年3月31日まで 106校

9,098人



(S) 有給休暇平均取得日数^{※2}

12.7 日

(S) 平均勤続年数^{※2}

14.9 年



(S) 兵庫県メインバンク調査
(株式会社帝国データバンク 2024年12月公表)

阪神南地区シェア1位

33.64%

阪神北地区シェア1位

24.86%



(G) コンプライアンス
関連研修
延べ受講人数※²

1,970人

(S) 女性労働者比率
(2025年3月末時点)

49.3%
(784人)

(S) 女性役席者
(代理・係長)数・比率※
(2025年3月末時点)

94人
(30.1%)



※役席者(代理・係長)における
女性役席者の割合

(G) SCO (シニアコンプライアンスオフィサー)
合格者 (2025年3月末時点)

449人

(G) ACO
(アシスタントコンプライアンスオフィサー)
合格者 (2025年3月末時点)

587人

(S) 年代別職員数・比率
(臨時職員含む)
(2025年3月末時点)

40代の職員	251人 (17.8%)
20代の職員	366人 (26.0%)
50代の職員	329人 (23.3%)
30代の職員	299人 (21.2%)
60代の職員	162人 (11.5%)

(S) 永年勤続表彰者数※²

30年 20年
37人 19人



(S) 格付

A

A (シングルAフラット)
株式会社日本格付研究所 (JCR)
(2024年10月30日取得)

第14回 あましんグリーンプレミアム
応募総数

167件



あまがさきエリア モノづくりパビリオン
イベント参加人数

701人



地域のベストバンクへ

当金庫は、持続可能な社会の実現に向けて環境への配慮や社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

社会課題を起点に本業に取り組み、

問題提起から課題解決に至るまで、

金庫が持つ情報発信力・課題解決力を発揮し、

地域社会の持続的発展や企業価値の発掘と

向上に努めることで全てのステークホルダーと

「ともに成長」をめざしています。

[Message]

地域におけるESG意識の向上へ、
これまでの蓄積を水平展開する。

価値創造事業部 法人ソリューショングループ 次長 宮本 健男

あましんでは、神戸大学経済経営研究所との共同研究「ESG要素を考慮した事業性評価」を通して、地域社会におけるESG推進を図っています。研究を通して新たに開発したのが、ESG対話シート。企業の課題を洗い出すと同時に強みを掘り起こすツールとして活用しており、2024年度だけで580社ものお客さまと対話を重ねてきました。経営課題の可視化は、ESGを進めるための一丁目一番地。今では、共同研究の輪は地域の枠を超えて全国へと広がりました。より広域での企業価値向上に寄与すべく、支援の幅を広げていきたいです。



地域経済の活性化と持続的発展

神戸大学と「ESG要素を考慮した事業性評価」の共同研究 ～第6回ESGファイナンス・アワード・ジャパンで特別賞を受賞～

2025年2月19日、環境省が主催する「第6回ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の間接金融部門において特別賞を受賞しました。

当金庫は、2022年5月から神戸大学経済経営研究所とESG事業性評価・支援に係る共同研究を行うとともに、環境省のESG地域金融促進事業にも採択された「ESG支援体制の構築・支援の実践」に取り組んでいます。選考では、ESG要素を考慮した3種類の事業性評価シート（ESG対話シート）を策定し、ESG事業性評価・支援の営業店への実装、他金融機関・支援機関への横展開を実施している点などを評価いただきました。



ESGファイナンス・アワード・ジャパン

2019年に環境省が創設した表彰制度。ESG金融や環境・社会事業に積極的に取り組み、インパクトを与えた機関投資家、金融機関、仲介業者、企業等において、その先進的な取り組みを表彰し、広く社会で共有することでESG金融の普及・拡大と、その質の向上につなげることを目的として開催されています。



あましんSDGs応援融資

当金庫では2019年10月から、お取引先のSDGsやESG、カーボンニュートラルへの取り組みを資金面からサポートする「SDGs応援融資」を取り扱っています。この商品では、取り扱い実績に応じて、SDGsの趣旨に賛同し地域課題の解決に寄与されている組織、団体などへ寄付を行っています。また、当金庫のSNS (Instagram) などを通じてご利用いただいたお取引先のSDGsの取り組み・活動を広く発信し、SDGsの目標達成に向けた協働や啓発活動を促進しています。

2024年度の実績

- 川西市「多目的個別デスク・スタッキングチェア」寄贈
- 宝塚市「市立スポーツセンターの卓球台」寄贈

あまがさきエリア モノづくりパビリオン

SDGsにチャレンジする尼崎市内企業の魅力発信と地域産業の活性化を目的に、企業・産業団体、金融機関等が力を合わせ、地域一体型オープンファクトリー「あまがさきエリア モノづくりパビリオン」を開催しました。企業と来場者が直接交流できるワークショップ（2025年1月18日、19日）や、普段は立ち入ることのできない市内12の企業の工場内部を見学できるオープンファクトリー（2025年1月31日、2月1日）を通じて、参加した皆さんに持続可能な社会の実現に向けて自分たちができることを考えていただく機会となりました。



魅力ある地域社会づくりへの貢献

地域貢献活動

あまちゃん・しんちゃんプロジェクト

創業90周年を機に地域や自治会の皆さまのニーズ（地域の課題）にお応えし、より地域との連携を深めるために「本業のひとつとして能動的に参画する活動」をめざしてスタートした「あまちゃん・しんちゃんプロジェクト」。2020年度からは「あましんSDGs宣言」の重点項目を意識した活動内容に移行しています。これまでの活動で得た地域とのつながりを活かし、さらなる活動の深化を図るため、自らが起点となり、地域の課題解決に向けて役職員が一丸となって取り組んでいます。



JICA「多文化共生・外国人材受入寄附金」へ100万円贈呈

2025年2月18日、当金庫は2024年度に実施した「外貨定期預金キャンペーン」の運用益から100万円を、独立行政法人国際協力機構（JICA）の「多文化共生・外国人材受入寄附金」へ寄付を行いました。金融機関から同寄附金への寄付は全国で初の取り組みとなります。今回の寄付金は、NGO、民間企業、地方自治体等のパートナーと連携した活動や、日本に対する適正な労働者の送り出し促進を目的とした開発途上国との技術協力事業の推進などに活用されます。

金融教育への取り組みについて

当金庫は地域の皆さまの金融リテラシー（知識）向上のため、学校などを訪問し、小学生から高校生までを対象とした金融教育を実施しています。開始以来延べ106校、約9,100人の児童・生徒の皆さまが参加しています。（2025年3月末現在）

■ あましん「おかね寺子屋」

未来を担う子どもたちに「金融の基礎知識やお金のおおきさ」を学んでもらうための金融プログラムを実施しています。当金庫の職員が地域の小中学校に出向いて、「働くこと、貯蓄することのおおきさ」などを分かりやすく解説しています。

■ あましん金融経済教育セミナー

地域の高校生を対象に「卒業後、安全で豊かな人生を送るための第一歩」として金融や経済の知識を身につけてもらうため「お金を借りる」「資産運用」「お金のトラブル」などを主な内容としたセミナーを開催しています。



芸術・文化・スポーツの振興

世界の貯金箱博物館

世界62カ国、25,000点を超える貯金箱を収蔵する世界最大級の貯金箱博物館。尼崎にひとつの“文化の器を”との思いから、1984年4月にオープンして以来、地域の皆さまをはじめ県内外の貯金箱ファンの皆さまに愛されています。



尼信会館

2001年6月、創業80周年記念事業の一環としてオープンした尼信会館。館内の「城下町尼崎展」では、国の重要文化財「太刀銘守家」など、歴史的に貴重な資料を展示。また「コインミュージアム」では、当金庫が保有する世界170カ国の金貨・銀貨等を展示しています。随時特別展を開催しますので、ぜひご来館ください。

一般財団法人 尼信地域振興財団

1978年1月に当金庫が基金全額を出資して設立した尼信地域振興財団は、地域の皆さまの長年にわたるご愛顧に感謝し、財団の活動を通じて青少年の育成、地域文化の振興など、地域に根差した活動を行うことを目的としています。

2024年度の助成は約770万円(43件)、寄付は250万円(1件)。設立からの助成総額は7億8,500万円、寄付総額は3,750万円となっています。



あましんサッカー大会

創業70周年記念事業として、1991年にスタートしました。当金庫は、サッカー大会の定期開催を通じて、地元阪神間の子どものためのふれあいの場を広げ、技術の向上、将来の夢の実現のお手伝いをしています。



尼信ブラスフェスティバル

創業80周年記念事業の一環として、2001年11月にスタートしました。毎回たくさんの吹奏楽ファンにお楽しみいただいています。



環境保全の永続的な取り組み

あましんグリーンプレミアム

「あましんグリーンプレミアム」は、環境改善に寄与する地域の皆さまの優れた技術や製品・工法、取り組みやアイデアにスポットをあて表彰する制度で、新技術の開発や環境文化の創造につながることを願い、2011年に創設しました。

第14回「あましんグリーンプレミアム」では、2024年5月20日から7月22日までの間に環境事業部門・環境活動部門・環境アイデア部門の3部門で163先から167件の応募をいただきました。

1次・2次の書類選考とプレゼンテーションによる最終選考の結果、最優秀賞には産業廃棄物として処理されていた卵の殻を充てん材として利活用し、接着剤やスポンジフォーム剤を開発した丸美化成株式会社が選ばれました。



あましん緑のプロジェクト

当金庫は、地元企業として環境保全活動に積極的に取り組むため〈あましん緑のプロジェクト〉を立ち上げ、尼崎市沿岸の国道43号線以南の臨海地域に緑豊かな環境をつくり、人と自然の共生をめざす兵庫県の「尼崎21世紀の森づくり」に2010年から参画しています。

2022年6月には、地域の皆さまと当金庫役職員が「10年かけて植樹し、100年かけて森を育てる」という大きな目標に向かって取り組む姿勢が高く評価され、一般社団法人全国信用金庫協会の第25回社会貢献賞において「Face to Face賞」を受賞しました。

10年かけて植樹するという大きな節目を終え、2022年からは除草・間伐活動など森を育てる育樹活動に力を注いでいます。

